本紙は女性による平和と平等を推進します

回覧 □□□□□□□

発行所
㈱全国婦人新聞社
〒160 本社　東京都新宿区西新宿3―7―28　宝幸西新宿ビル
電話03（343）1846代表
振替口座　東京　172320
〒543 支局　大阪市天王寺区勝山2―202
電話06（771）7415

全国婦人新聞

ご購読料
1年　3,800円
（郵送料とも）
現金・切手・振替で前納
（月3回発行）
10日・20日・30日

うすくちは心もち控えめにお使いください
東
うすくち
ヒガシマル醤油
＊醸造元　兵庫県竜野市　ヒガシマル醤油株式会社

「第三世界の観光問題に取組む機関」の活動家二人が来日

各地を周って ″買春観光の悲劇″を訴う

問題は「貧困」だが

文化・生活・健康まで破壊

「第三世界の観光問題に取組む機関」の活動家二人が、日本基督教団買春観光問題委員会の招待で来日、いま日本の各地で″買春観光″の問題について訴えている。来日しているのは同機関の主事ピーター・ホールデン師（オーストラリア人、牧師）とタイ人のチャンタウイパ・アピスク夫人（通称、ノイさん）。この機関は昨年一月アジア・カトリック司教会議、アジア・キリスト教協議会、太平洋教会協議会、カリブ海教会協議会の共催でスタートしたもの。二人は十一月二十一日来日、十二月四日まで日本各地で問題を訴える予定である。

第一回の集会（十一月二十三日午後、日本キリスト教会館＝新宿区西早稲田＝）の模様をのぞいてみると―。

ホールデン氏は「人間にとって″いいもの″だった観光が、人間関係を悪くし、弊害を及ぼす側面を持っていることが、問題にされ出したのが、十年ほど前。そしていま、観光は第三世界に災害をもたらしていることがはっきりした。では観光をいいもの＝人びとの関係が平等で、互いに利益を得る＝に変えるためにはどうすればいいか。

「第三世界の観光問題に取組む機関」は発足したばかりであり、活動家は自分とノイさんの二人だけで、資金も充分ではなく、大したことはできないが、機関紙を出し、調査をし、数カ国の調査を組み合わせたり、スライドを作り事実を訴えるなどの活動をしている。始まったばかりだが、私たちには情熱と確信がある。各国に同じ考えの人がいるのも私たちを力づけてくれる。」

ノイさんは「一九八〇年にタイに来た観光客は百八十五万人、一億二千五十万円。一九八一年の統計で、外貨獲得産業の第三位は観光である。一九八二年には同じく第二位に上ってきている。今年、四千人の売春婦がタイから香港に行った。日本へは三千人の売春婦が行ったといわれている。第三の求め先は中近東で千五百人以上。アラブ諸国で急速に伸びている。タイ国内の貧困を解決できない限り、流出労働をくいとめることはできないだろう。また、近隣諸国の婦人の協力を期待している。」

問題を訴えるホールデン師（向って左）とノイさん（中央）

このあと、タイにおける″観光売春″の現状を描いたスライド、バリ島の静かな村が観光開発会社により観光地になったために起った、変容を描いたスライドを上映。このスライドは、バリ島観光へ行くオーストラリア人に見せるため作られたものだが、会場の参加者から、この開発会社は日本の会社である、と指摘した人があり、″日本人の問題″としてクローズアップされた。

矯風会の高橋喜久江さんからこの十年間の日本人男性の買春ツアーに対するとりくみを報告。一九七三年七月、韓国教会女性連合会のアピールが発端となり、韓国へのキーセン観光買春ツアーの実態がわかったこと、それに対する婦人団体のとりくみ。昨年は旅行業法も一部改正させたがにもかかわらず、東南アジアへの買春ツアーは衰えないこと……。などが、活動の歴史のスライドもまじえて報告された。

そのあと参加者たちとの懇談になった。ホールデン師は「女性からの搾取が商売になり、搾取が構造的になっている。観光だけが問題ではなく、売春の本当の問題は貧困である。生存するためにやれる仕事は売春しかない。観光はマーケットを開き、国際的商売となって広がった。観光はまた別の貧困をつくった。金により、文化、生活の基本、健康までとりあげられてしまった。自分の文化や生活を、売りはらってしまったのだ……。」

これに対し出席者から「原因は貧困といわれるが、日本で、売春はかつてないほど盛んに行われている。豊かになっただけではだめ。精神的に豊かでないと……」との声。

ノイさんは、タイにおける日本人買春ツアーの現状は？の質問に「一九七九年の鈴木訪問をピークに減ってきている。いま一番多いのはマレーシア、二にアラブ、三番目が日本人か。日本人は一人でなく、グループで行く習慣があるようだ……」。タイには、貧困だけでなく、さまざまな問題があるようだ。″私たちの政府は、タイに売春婦はいないといっている。タイの習慣で男がある年になると、マッサージパーラーにつれて行かれ、″男″になる。夫は帰らず、女は仕方ないと思っている。」

日本の現状を思いやってため息。夫の買春行為を認めてしまうところなど同じではないか。タイでは、もちろん一夫一婦制だが、かなりの男が多くの妻をもち、″甲斐性″と思われている。前首相は四〇人くらいの女をもち、昔の僧侶で百人も子どもをもっていた人がいる。国会議員五百人中、婦人はたった二人―。しかし、日本の状況をふりかえると、タイを″後進国″と笑えぬ。五十歩百歩というところかも。

日本へ三千人もタイ女性が輸入されているということについて質問も出たが、その人びとがどこで何をしているか、極めてつかみにくい。しかし、だまされてつれてこられて逃げ出した、という事件もポツポツ起っており、いいことがあるという風な宣伝をして、だましてつれてくるのだろうが、宣伝にだまされるな、というPRを現地でしてほしいという意見も出た。ホールデン師から、「スイスでもこの問題に取り組み、政府はそういう輸入をしないようにしようとしている」と事例が紹介された。

二人はこのあと千葉、横浜、京都、大阪、神戸、広島、福岡、札幌で集会に出たあと、十二月三日東京で反省会を兼ねて話しあい、四日に離日する。

女性町長10選
松野さん日本一

女性で全国初の十選町長が誕生した。岐阜県本巣郡穂積町の松野友さん（七〇）で、革新の対立候補を破って記録を更新した。全国の十選町村長は長野県と高知県に各一人というから松野さんは三人目、女性首長は二人だけという。

身近かで興のある学びの場

電車とバスの博物館

昔懐しい木造電車

最近の交通網の発達にはめざましいものがあって、知らない間に新しい路線が次々とでてくる。二〜三年も日本を離れようものなら、一人ではどこにも行けないような有様だ。

その中でも、電車は、自動車とは違って渋帯もなく、決まった時間で目的地に着くことができるため、私たちの生活には欠かせないものになっている。

ことし、四月、東急田園都市線の高津駅の下に、「電車とバスの博物館」がオープンした。開館して、八か月の新品の博物館である。

同館は、東急の六〇周年を記念して建てられたもので、交通と街づくりの関係を理解し、正しいものの見方、考え方をつちかってもらおうというものだ。

高津駅の改札を出ると、すぐ目の前に、昔懐しい玉電が置いてある。かつて、渋谷から二子玉川園まで路面を行き来した二両編成の、映画のモスラの形を思わせる丸っこい車体だ。

昔、自動車の列の中にまざってノロノロの走っているのを見たことがある人なら、懐しさでいっぱいになるはずだ。

駅の真下（高津駅は高架なので）あたりに博物館の一号館入口がある。駅と同じに入館券の自動販売機が置いてある。大人も小人も十円ナリ。

構造から懐古まで
運転の感触もジッカン

正面には、蒲田から五反田を結ぶ池上線に使われている車輌がある。この電車は、中の機械を取り出してあり、運転席で操作すると、どのように機械が連動しているのかが、操作した人にわかる仕組み。

二階は歴史コーナー。駅前は閉散としていて人っ子ひとりいない昔の田園調布駅舎の写真や、電車の模型、パネルが展示してある。

二号館一階には、新旧実物車輌や航空写真をもとに多摩田園都市のパノラマ模型（手づくり）などの他に、同館自慢の8090系シミュレーション（模疑操縦）コーナーがある。

これは、自分で目の前のスクリーンを見ながら電車を運転するというもので、映像はレーザーディスクを使用。運転席は、最新型の8090型のものだ。

元来、シミュレーションは、運転士の訓練に使われるもので、博物館に設置し、入館者が実際にやれるのは、同館だけだそうだ。

この車両の後半分は、車内に柱のある木造車輌。簡略で、合理化された8090型と比較できるようになっている。

木の窓枠、アミ棚、木の床、決して格好のいいものではないけれど、温かいぬくもりが伝わる。

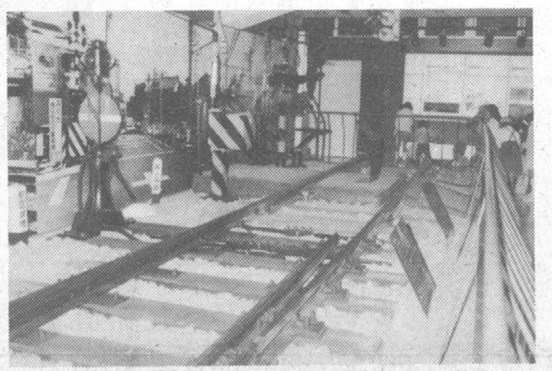
二階へ上がると、目の前に昭和三十九年当時の高津駅の切符売場がある。厚いボール紙のような切符も、定期に押す日付けや行き先のゴム印も当時のもの。

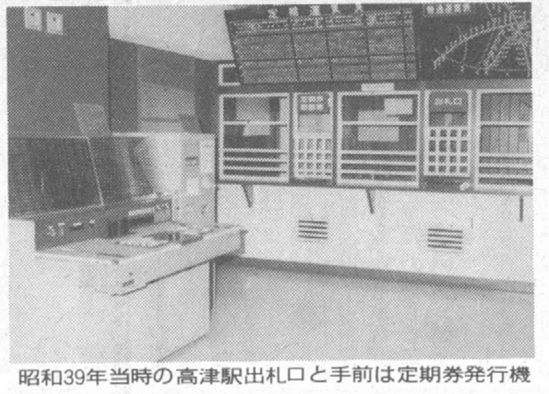
窓口には運賃表があって、高津から溝の口（一駅間）十円、渋谷まで四〇円、桜木町まで六〇円なんていう、今では絶対お目にかかれない運賃が示されている。窓口のガラスには「日・瑞対抗朝日招待庭球試合　田園コロシアム特設コート　招待選手ウルフ・シュミット、トーマス・ホールベルグ」などと書かれたビラまで貼ってあって、なかなか芸が細かい。

昭和五十七年二月に東横線元住吉駅で使用され、東急で第一号という定期発行機も展示されている。

また、銀道マニアの集まり東急清和クラブ、レールファンクラブ作制の模型や、動く東急コーチ（デマンド・システム）の模型、線路コーナー、記念乗車券と盛りだくさん。

バスのコーナーには、ボンネット観光バスから、現在のスケルトン、モノコック構造までの型の変遷、自由乗車区間のあるデマンド・システムが解明されている。


この踏切は実際に上がったり下がったりする。


昭和39年当時の高津駅出札口と手前は定期券発行機

線路コーナーでは、実物の踏切を展示、赤い信号が点滅して『ぐるな』と書かれた遮断機がおりてくる。

屋外には、保線工事をするマルチプルタイタンパーという、昼間は見られない車輌、また、日野RB一〇型バスが設置。内部が見られるように工夫してあり、実際にハンドルを握って構造を知ることができる。

また、約一六〇人収容できるホールでは、「電車とバスの一日」という映画を上映。裏方の話しや、乗りもののマナーなどを映像を通して知るようになっている。

総工費三億三〇〇〇万円。

「三号館を建設する予定もあります。ゆくゆくは七号館ぐらいまでは―。そのうちに船や飛行機も持ってこようという構想なんです」（同館々長大野晴夫さん）

日曜日で、一〇〇〇人を超える来館者があり、小学校二年生の社会科で二学期から乗り物で働く人というテーマがあるため、学校単位の団体が多い。子どもが多いこともあって、展示物は少くし、むずかしいことも書かない代わりに、手で触って目でよく見て、電車やバスを体でわかろうという趣向だ。

「大人だってね、ここに一日いると、ずい分遊べますよ」（同館中村さん）

土・日には、玉電の中を解放、休憩もできるようにしている。

「電車とバスの博物館」
▽交通…田園都市線高津駅下車
▽開館時間…午前九時三十分～午後五時　月曜日休館。
▽入館料…大人も小人も一〇円。団体無料（前日までに電話予約が必要）。
〒二一三神奈川県川崎市高津区二子六三二　☎〇四四―八二二―九〇八四。

お詫びと訂正

十一月一〇日、六八六号の「学びの場」で「シンジリ」は「チンジリ」、「フラッシュ」は「スラッシュ」、休館日の「一月四日」は「一月九日」、写真説明のうち「一七世紀…」は「一九世紀末から二〇世紀初め」「西洋服の歴史」は「当館の西洋時代衣装は」、「つい最近…」は「女官長をされていた方が実際に」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

婦人の要望を無視しないで

関係各団体が激しい動き

臨調答申に反発

婦人保護費補助の廃止など

臨時行政調査会の第三部会の国庫補助金の整理についての見解が新聞紙上等を通して明らかにされているが、この中で″婦人保護費補助金の廃止″など、あまりに婦人を無視した面が強いと、関係の団体が強く反発、根本的に考え直してほしいと要望している。かねて臨調の完全実施を強く望んでいる中曾根氏が首相になったことで、臨調路線は強く推し進められて行くことだろう。国民の間にも、″臨調待望論″が根強いことは事実。だが、国民の素朴な願い、″ムダを省いて…″という期待とはウラハラに、防衛は聖域、切るのは教育、福祉と、弱者へのしわよせの恐れが強い。十二月下旬に提出が予定されている臨調第三部会の正式報告を前に、婦人関係団体の動きもあわただしい。

国庫補助金の整理は三兆円を目標とし三十九項目の対象をリストアップしている。補助金の全体は三千八百もあるというが、その中でどうしてこの三十九項目が選ばれたか。もっと不必要な補助金があるのではないか、という思いは誰もが抱くところ。また実際にどんな補助金があるのか臨調部会員はデーターをつかめず、大蔵省出身の調査員が適当にリストアップしたものを審議したのではないかと思われることだ。さらにその補助金一つ一つの内容が、どのくらい理解されているかという思い―。

たとえば、いま激しく動きの起っている″婦人保護費補助金″の廃止。たった「二十三億」である。これだけの金で全国の婦人保護員、婦人保護寮の人びとがどれほどの仕事をしているか。一般財源まわしにされてしまったら、地方によっては、全く仕事が切り捨てられてしまうという危惧が強い。しかもその額たるや、戦闘機一台ほどの金なのだ。

三十九項目のうち、民間、産業助成等の部については、部会の中でも「切るな」という意見も強く、農業関係も強力な圧力団体があるので、結局文教、福祉関係が切られるという見方が強い。国民に一番身近なものが、一番ねらわれやすいというのは、まことにおかしな話だが…。

婦人保護費補助金の廃止に反対しての動きが、盛り上っている。

◇**売春問題ととりくむ会**は前々からこの動きを察知、たびたび臨調委員に個別に会ったりしているが、十月二十二日には要望を郵送。

◇「**国際婦人年日本大会の決議を実現するための連絡会**」（通称四十八団体）を代表して、大羽綾子、高橋喜久江（矯風会）、山口みつ子（婦選会館）、大関清子（新婦人の会）さんが十一月二十四日、臨調第三部会担当者谷川憲三氏と会見。婦人保護費補助金と農業生活改善普及事業負担金廃止について反対を申し入れた。四人は、売春防止法は、婦人の総意による大同団結。女性主権者の熱意が、立法化されたものであり、この結果生まれた婦人保護費を、勝手にけずるのは、主権者を無視したものであると強く申し入れた。

要望書を郵送
抗議集会開き

◇**日本基督教団**第二十二回教団総会は十一月十八日に開かれ、婦人保護費廃止問題につき、決議文を出し、廃止せず、ますます充実強化を訴えた。決議文は「―この法律をうみ出すために、明治以来労苦したキリスト者先輩たちの血と涙と思うと黙しえないことです。また、今日的状況におけるトルコ風呂の増加繁栄、買春観光のアジア侵略、青少年非行増加等、売買春の拡散状況にみられる性の商品化に対しては、私たちキリスト者の倫理にてらして、人間の尊厳をそこなうものであり、憂慮に堪えません。むしろこの機会にこの事業の強化することを願うものであります」といっている。

◇全国の婦人保護員、婦人寮関係者等でつくっている「**婦人保護事業推進会議**」は十一月二十四日に大阪で西日本大会を開き、三百人もの参加者が集り、廃止に反対抗議した。さらに十二月十一日、東京市ケ谷のエバンゼリンホールで全国大会をもち、さらに広く各方面にアッピールする予定。

これらの動きに臨調がどう対応するか。女性の声を真剣に聞いてくれるだろうか。日本基督教矯風会の高橋喜久江さんは「戦闘機一台分ほどのわずかな金。これで何百人何千人の、最底辺の、しいたげられた人びとが救われるかもしれないのに―。これは″男による女の問題の切り捨て″としかいいようがない。」といっている。

臨調第三部会がリストアップしている
「社会保障」関係の検当対象補助金

◇社会保障

①療養給付費補助金（市町村分）	1兆4761億	国庫補助制度の改善合理化
②財政調整交付金	2135億	〃
③臨時財政調整交付金	1018億	〃
④児童扶養手当給付費	2007億	所得制限の適正化
⑤児童手当国庫負担金	710億	廃止
⑥生活保護費	1兆260億	運用の改善
⑦婦人保護費補助金	23億	廃止（一般財源化）
⑧生きがい対策費補助金のうち老人クラブ活動等助成費	23億	地方単独事業化
⑨結核医療費補助金のうち医療療養費	25億	廃止または補助率引き下げ

婦人手帳

★★★ ″なりたい なりたい″と言い暮らしてきた中曾根さんが念願を果して第七十一代目の首相の座に納まった。まずは目出たいといいたいところだが、新聞やテレビでご覧のように甚だ評判がよくない。二階堂幹事長留任をカナメとして、本来自らの腹心を置くべき官房長官に角栄のフトコロ刀・後藤田氏をまつった。そして後藤田氏と同じ警察畑、親田中でロッキード裁判に批判的な秦野氏を法相に。そしてまた″灰色″の加藤六月氏の入閣。中曾根氏のいう″分り易い政治″も露骨すぎはしないか。

★★★「天も人も恐れぬ」「前代未聞の純角内閣」「田中曾根内閣」と野党も驚く程だ。内閣総理大臣といえば、日本国民の生殺与奪の権を握る人だ。それが国民の気持を逆撫でするようなスタートを切った。空恐しい気持だ。そもそも自民党総裁選なるものが、あんな大騒ぎはしても、私たち国民の大多数とは何ら関係なかった。わずか百四万の自民党員（通常の国政選挙の有権者の八十分の一）の投票によって決まってしまう。そしてその人が即、日本全体をリードする総理大臣というのは、どうも解せないのだ。自民党だけの国じゃあるまいし。あの総裁予備選の国民不在のあり方。なぜか涙が流れてやまぬ。

★★★その予備選の有権者は「五十歳以上の男性自営業者」つまり中小企業主、商店主、農林漁業関係の自営業者が主流を占めている。その反面、女性はわずか24％に過ぎない。公職選挙法の女性有権者が50・1％であることを考えるといかに偏った土台の上に日本の総理がつくられたかが分かる。あれほど″党外の人の影響力排除″を訴えた非主流三派はどうしたのか、いまやただ唇を噛んでいる状況。そして党内抗争に明け暮れる社会党をはじめ野党の無気力、ふがいなさ。束になっても″その人″の影響力に敵わないのだろうか。かくなる上は、翌年に予定されている衆参両院選挙だけが我々庶民の意志を示す唯一の機会といわねばならない。ここで退いたらもう終り。特に女性の良識に期待したい。″中高男性自営業者″にのみ、国政を任せて置いていいわけがない。

〈親子であそぶあやとり絵本〉
あやとりいととり 1・2・3
辻村益朗絵
斎藤たま採取・文
1本のひもを結んだ単純な輪が、指を動かすたびに美しく変化する。そこには創造する喜びがあり、人と人の心のふれあいがある。古くより各地で親しまれてきたこの楽しい遊びの世界を、全3冊で62種紹介します。
●定価 各320円／セット定価 960円
福音館　東京都千代田区三崎町1-1-9
●絵本の与えかた・無料送呈

★クリスマスの楽しい本★
サンタクロースと小人たち
クンナス・作　稲垣美晴・訳
遠い北のはての雪国で、大勢の小人たちと一緒にプレゼント作りに大わらわのサンタの一年間を、人気画家が克明に楽しく描写。サンタのふるさとフィンランドからきた絵本!!
ボローニア国際児童図書展エルバ賞推薦図書　定価1800円
サンタクロースっているんでしょうか？
ニューヨーク・サン新聞「社説」／中村妙子・訳　大人も必読!!／600円
クリスマス物語集
中村妙子・編訳　1200円　世界中で読みつがれる名作
サンタおじさんのいねむり
ファチオ・作／前田三恵子・訳　プレゼントくばりの途中で眠ってしまったサンタのお話。780円
偕成社
〒162 東京都新宿区市谷砂土原町3-5／☎260-3221㈹

童話屋・もぐらの絵本
いわきたかし文／しまだみつお絵
「くいしんぼのもぐら」
「おや、なんのにおいだろう」秋風にのって流れてきた、いいにおいにつられて、もっくがでかけていくと……。
「もぐらのおとしあな」
もっくは、いたずらが大好き。おとし穴を掘っては、仲間の動物たちをつぎつぎに落とします。最後にしかけた壮大な穴に落ちるのは……。
各B5判変型・36頁・定価950円
※もぐらの絵本、次作は、夏が舞台。来年5月発売予定です。御期待ください。
童話屋
〒150 東京都渋谷区渋谷1-20-1
TEL（03）409-6460㈹

海に生きようとする少年の大きな夢を描く。
荒海をゆく北前船
初め「炊」（炊事役）として乗り組んだ捨吉は、船頭になってみせると夢みるが、漂流して餓死に直面し……。
●小納 弘・作●北島新平・絵●小学校高学年・中学生向
●A5変型／280頁●定価1,200円
ユダヤ人収容所の壁にかくされたスケッチブックが今、絵本として甦る。
トミーが三歳になった日
息子トミーに残されたスケッチブックからは戦争の悲惨さと深い親の愛情が伝わってくる。
●ミース・バウハウス／文●ベジュリフ・フリッタ／絵●横山和子／訳●27×21cm／96頁／小学中級以上●定価1,200円
新刊　カンボジアの少女の記録
やせっぽちのチア
カンボジアに戦争がおき、人びとは傷つき、飢え死にした。他国にのがれ出たチアはジャングルをさまよいあるき……。
●梁 敏子・手島悠介／文●こさかしげる／絵
●B5変／120頁●定価1,100円
絵を描く楽しみをみんなのものに
三原色の絵の具箱
赤・黄・青の三原色と白の絵の具だけで、だれでもが楽しく絵を描けるように、わかりやすく説明されています。
●松本キミ子・堀江晴美 共著（仮説実験授業研究会会員）
●全3巻／A4変／各巻40頁●各巻定価1,500円
ほるぷ出版　〒160 東京都新宿区新宿2-19-13　TEL.03（354）7031（代）

ちびっ子名探偵があざやかに事件のなぞをといていきます！
ぼくはめいたんていシリーズ
M・W・シャーマット作／M・シマント絵
光吉夏弥訳　小学初級向　定価各900円
1 きえた犬のえ
2 まよなかのはんにん
3 なくなったかいもののメモ
4 きょうりゅうのきって
5 かぎはどこだ
東京・銀座1—9—10　大日本図書　電話（03）561—8671

＊新聞・テレビ・ラジオで話題沸騰――
お星さまのレール
これだけは伝えたい……母が子に語る戦争体験！
小林千登勢著
阿川弘之／解説
昭和21年8月。9歳の千登勢とその一家は、朝鮮半島を南北に分断する38度線をめざして故国日本への苦難の脱出を――。ありのままつづった感動のノン・フィクション。
朝日新聞・週刊サンケイ・ノンノ等で好評●重版出来●定価850円
姉妹本
ガラスのうさぎ　高木敏子・著　定価850円
妹　小中沢小夜子・著　定価850円
金の星社　東京都台東区小島1-4-3　〒111 ☎03-861-1861

体験 佐渡のくらし —3—

食生活研究会 境井まり子

青大将とバッタリ

子供はケロリ、自然は友

＝続 蛇と卵＝

私は、ぞっとする思いで細野さんの話を聞いていました。「蛇が卵を呑みにくる」ことは、話としては良く聞きますが、それが、現実に我が家とは！

子供たちに鶏小屋の近くで蛇を見たかと聞けば、卵のところでトグロを巻いてたとか、小屋の脇のドクダミの群生するところで見たとか、驚いた風もない。

前のおじいちゃんに聞けば、しげしげと私を見つめて「あんた、蛇が恐いんのんか。そうかあ。蛇をこわがっておったらのう、そりゃあなんもできんしのう」

蛇の嫌いな栄春（屋号）のおばさんは「この家にはのう、確かに蛇がおるっちゃ。裏で鶏を飼うていたしのう。蛇は匂いを覚えておるんだなあ。ここは確かに蛇屋敷だっちゃ！」と力説します。

蛇屋敷だなんて、そう簡単にいわれても困るんだよなあ—。しかし、まむし以外は、人間に飛びかかって来んし、しんぺぇ（心配）ねえわや、と細野さん。

蛇は卵を呑むと木に登り、からみついて自力で体を絞めあげるか、木の上からバターンと地上に自分の体を叩きつけて、飲みこんだ卵をつぶす、そしてウソか真か知りませんが、のどから卵の殻をカラカラと出すのんや、と丁寧に教える人もありました。

私は、あらためて、夏の間にすっかり雑草におおわれてしまった家の周囲を見渡しました。

「こういう草の中におるんだよォ」と栄春おばさんにいわれて、とにかく草を刈ろうと子供たちを動員して、くる日もくる日も草刈ばかり。

蛇とハチ合わせするのではないかと、びくびくしながら草を刈る私とは違って、子供たちは、実にダイナミックに草を刈り、山となった草を一輪車で堆肥置場まで運び、疲れればカマを捨て、自分たちで作った竹馬に興じる。草刈りも竹馬と同じで、みんな彼等にとっては遊びなのです。

環境に順応して行く子供たちの姿に、私は目をみはる思いがしています。はじめは、カマで手を切ったアキも、さすがに腕をみがいてきましたし、はじめからうまいキー坊なども、カマをとぐ手つきもなかなかのもの。

子供は実に素直です。だからどんどん環境を受け入れます。良くも悪くもです。どんどん良くなる。どんどん悪くなる。紙一重です。畑仕事も遊びも楽しく興じる子供たちを目の前に見て、私は自分自身が教えられ、素直になり、勇気が与えられ力が湧きあがってくるのですから不思議です。

蛇は草ムラにいるのだと聞いて、あわてて総員出動で草刈り

今まで草とは縁のない生活をして来た私は、顔や腕を草にやられて、かぶれるやらの大騒動でしたが、この屋敷の周囲に住む蛇が、私だけ出くわさないということは、やはり有り得なかったのです。

「今日は学校の帰りが遅くなるし、エサをあげといてね」と息子たちに頼まれた日のことです。蛇のことも忘れかけた頃でした。

毛に鶏の菜を刈り、カヤの実を拾って与え「大きくなったねえ。たくさん食べるのよ。よし、よし」とか何とか一人言をいいながらさっと立ちあがり、さて鶏にも菜っぱをあげよう、と小屋の方へ歩きはじめた瞬間、今まさに小屋に入らんとする蛇とバッタリ。一ばかりの色も艶やかに黒光りした青大将。

私をじっと見つめたまま、ピタッと動かない。造りもののように、びくっとも動かないのです。全身総毛立ちとはこのことか。私は後ずさりをして逃げました。数日後にまた、卵を取りに小屋に入ったら、ちゃっかり、同じ奴が卵を抱えるようにトグロを巻いている——私は声にはならぬ声を発して逃げたのです。子供たちに話をすると、笑って「そう」と軽い返事。

ケロリとしている息子たちに、本当に平気なのかと問い返すと

「そりゃ、気持ち悪いけどなんもせんもん」と佐渡弁で返って来たのです。結局、蛇のことで大騒ぎしているのは私だけで、何だかアホラしくなって来ました。

子供たちに蛇のことなんか大したことじゃないんだと教えられました。

四月にこちらに来て、うぐいす、とんび、蛙の鳴き声に包まれ、山や田や畑を眺めながら何て素晴らしいのだろうと感じていた自然の中に、蛇もヒルもいる、当然のことながら、そうした全てになれていくより他ないのだという覚悟が私に出来たのも、蛇のおかげというべきでしょうか。

十月になって朝夕めっきり冷えこみ、蛇にも合わなくなりました。蛇嫌いの栄春おばさんがやって来て「裏の小舎を一度整理せんか。蛇も、もう出てこんし、手伝うっちゃ」

隣に住む彼女は、この家をずっと管理していたので何もかも良くわかっていて、蛇の出没原因を冬の間になくそうというわけです。

シリーズ 日本の食の伝統を見直そう

家庭栄養研究会

完成度高い日本料理

幕末の下層武士が伝統覆す

家庭栄養研究会「日本の伝統を見直す～現代へ受け継ぐには」の第二回は、元帝京短期大学講師・児玉定子さんによる『明治期の洋食導入の中で』。平安時代に食事の型式らしきものが登場して、鎌倉、室町時代に発達、安土・桃山を経て江戸時代に完成された日本料理が、明治維新をきっかけに、なぜ継承されなかったか—幕末の下層武士が明治時代の支配層になったことに起因していることが、あきらかにされた。

ここでいう日本料理は、家庭で作られる"おふくろの味"的和食ではなく、職人から職人へと受け継がれて来た専門家による日本料理のことだ。

「私たちの周辺で見られ、考えられているものと、日本料理の伝統と称するものは画然と違う」と児玉さん。

どう違うのか。児玉さんが書いた「日本の食事様式」（中央公論社）から、みそ汁の作り方を例にすると、家庭では「水から煮干またかつぶしで数分間だしを取り、味が出たとおぼしいころ、味噌や豆腐を入れ、いったん下った温度の汁がふたたび煮立ったところで火をとめ、盛りつける」が伝承のやり方は「食事の三、四日前に、削りたてのかつぶしを味噌に練りこむ。これを密閉してねかせる。使うときは、ちょっとぬるま湯になった水から、味噌こしに入れ、少量ずつ溶しこむ。沸騰点に達する直前に豆腐やなめこを加え、豆腐が一つ二つ浮きあがったところを限度として火をとめ、刻んだ三菜をちらし、ただちに椀にそそぎ、ふたをして供する」のだ。

このように焼魚、煮魚、刺身など、魚の操作・処理、野菜の扱い方など、すべて違う。

「すべての料理の前処理から手順、温度、加熱方法・時間などすべてが、洗練された技術で完全にシステム化され、あたかもマイクロ単位の化学実験のように行われている」のだそうだ。

鎌倉時代から権力を握った武士の供応料理の代表的なのが本膳料理と呼ばれるもので○汁○菜という献立（図参照）。

材料は海のもの、山のもの、野のもの、里のもの、河川沼のものを使う。料理基本は、生もの、焼きもの、煮もの、練りもの、卵料理、あえもの、揚げもの、汁・吸物、加工品で、調理法や材料が重複せず、色彩は黄、赤、白、黒、青（緑）の五彩を用いるよう定められていた。

こうした技術は、支配層であった雇い主や主人のため、身ぐるみ飼い殺しの調理人が長い年月にわたって作りあげたもので、自衛上、ごく限られた少数の弟子にしか伝えられなかった。さらに支配階層専属であったため一般庶民には伝わらなかったのだ。

万一、主人が没したり、支配層が交替することがあっても同じような上流階層の、他の主人に招かれ雇われたので、この専属調理人の技術は継承されていった。

それが明治に入って中断されたのだ。

前代の支配層は瓦解し、明治の支配層は、まったく異質の階層で、歴史の流れの中で、西欧文化の礼讃者たちでもあった。

このため、職を失った調理人は、料理店や花街のなかで秘伝の技術を温存していった。一方新興階層へ行った一部は西洋料理を学ばされ、和洋折衷の料理が盛んになっていった。

さて、明治の支配層となった彼等は、どういう食生活をし、なぜ西欧料理へと傾いていったのだろうか。

明治維新を十年後にひかえた安政四年、緒方洪庵の適塾の塾長をしていた福沢諭吉の自伝から食生活を探ってみると——

「銭の乏しいときは酒屋で三合か五合買って来て塾中で独り飲む。夫れから都合の宜い時は一朱か二朱持って一寸と料理茶屋（社寺の門前や遊里の飲食店で、会席料理を出す料理屋よりは格がおちる）に行く。是れは最上の奢で容易に出来兼ねるから、先ず度々行くのは鶏肉屋、夫れよりモット便利なのは牛肉屋だ。其の時大阪中で牛鍋を喰わせる処は唯二軒…何処から取寄せた肉だか、殺した牛やら病死した牛やらそんな事には頓着なし、一人前百五十文ばかりで牛肉と酒と飯と十分の飲食であったが、牛は随分硬くて臭かった…」

塾の方は、一日と六日が葱と薩摩芋の難波煮、五と十が豆腐汁、三と八が蜆汁となっており、これでも、当時の一般の家庭や商家に比べるとまだましなほうだという。

「福沢の食事の特長は、当時の上層階級ではタブー視されていた獣肉でも、必要とあればためらわず食膳にのぼらせる合理性を身につけていた」と児玉さん。

西郷隆盛もそれが言える。渋沢栄一が西郷を尋ねた時「…大西郷は、時には『今晩豚の肉を煮るから一つ晩飯を食うて行かぬか』など勧められ、同じ豚鍋に箸を入れ食事を共にしたこともあった」という。

長崎の英学館時代の大隈重信も牛肉が好きで、度々、下宿屋の主婦に煮させて賞味したという。

西洋料理に初めて出合った幕末の侍たちの反応は、拒否型と積極支持型に別れたという。拒否型は、当時の生活環境に満足していたグループで、積極型は生活の現状打破を待望するグループであった。

つまり、現状打破のグループは下層階級の武士であり、伝統的な日本料理を食べたことも、身分制度が厳しく、下級の者と食事をしない事が当り前とされていたので、上層の食事すらみた事がなかったと思われる。彼等は、味のよしあしを比較する自分自身の基準がなかったので、何を食べてもおいしかったのだ。

安政元年三月、ペリー提督は日本委員達や従者達を艦内に招待し、饗応を行っている。その報告書の中に「日本人の食欲は猛烈で、皿を選んだり、食事の順序の見堺をつける余裕など殆どなく、魚、獣肉、鶏肉、スープとシロップ、果物とフリカッセー、蒸し肉と煮肉、塩漬物と砂糖漬物をゴチャゴチャに詰めこんで、驚くべき無作法さを示した」とある。

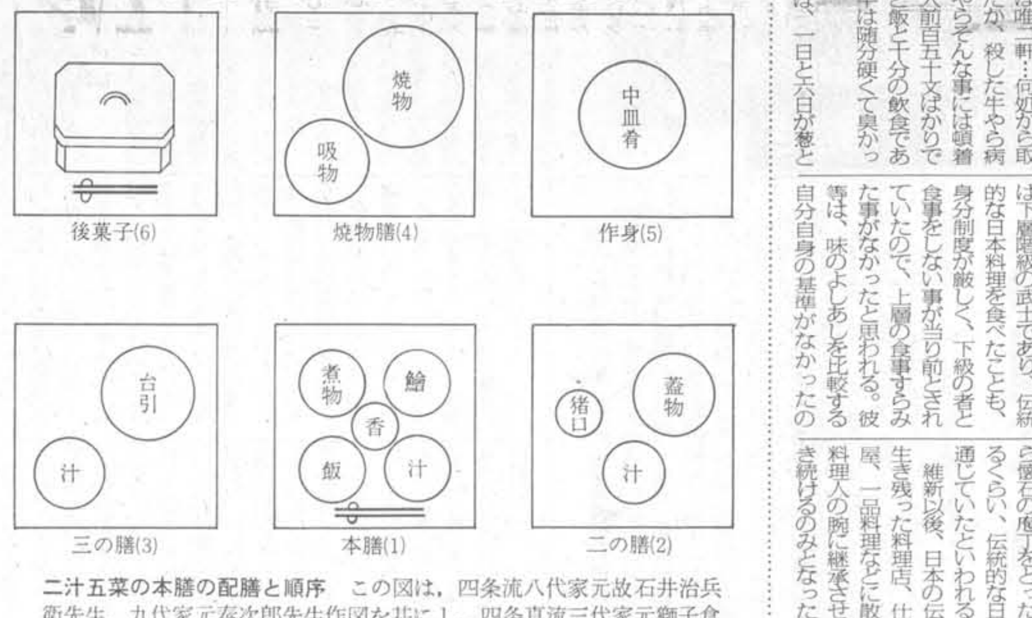
初めての洋食に無条件降伏をみせた従者の侍たちの姿だ。貧しい食生活の中で初めて味った山海の珍味は何を食べてもおいしかったに違いない。それ以上に、黒船の中には上下の隔てのない自由の雰囲気…異邦人の文明が魅力だった。洋食＝現状打破が彼等の中に根ざしていった。

幕末の料理茶屋の経験しかない明治の指導者が、西洋料理に走っていく中で、井上馨は奈良東大寺の茶室を邸内に移設して、財界人を招いて茶会を催したり、七十五歳のとき、みずから懐石の庖丁をとったといわれるくらい、伝統的な日本料理に通じていたといわれる。

維新以後、日本の伝統料理は生き残った料理店、仕出屋、魚屋、一品料理などに散らばった料理人の腕に継承させられ、生き続けるのみとなった。

本膳料理の配膳

（児玉定子著「日本の食事様式」中央公論社より）



二汁五菜の本膳の配膳と順序 この図は，四条流八代家元故石井治兵衛先生，九代家元泰次郎先生作図を基にし，四条真流三代家元獅子倉祖憲先生のご指導を仰いで作製したものである。盃，銚子，飯鉢，通い，湯，水については図示を略す。

ずーむ ZOOM UP まっぷ

大阪府立婦人会館長 井口容子さん

同じ悩みがキズナ

婦人問題を軸にして 連帯の輪ひろげたい

「結婚したところ、働き続けられるかどうか自信がありませんでした。でも、今は、仕事を捨てないでよかったと思っていますね」

井口容子さん（五二）。大阪府の統計課を振り出しに、青少年対策課、消費生活課、業務課と行政畑一筋。ことし四月、大阪府婦人会館の館長になった。

婦人会館にきて四年目。大阪府下は婦人問題に対するレベルが高いため、思いきったことがやれるのが何より、と言う。

「大阪には、大小とりまぜて六四～六五団体がありますが、特に民間の自主的な動きのレベルが高いと思います」

大阪では、婦人のみで活動するというよりも、いろいろな団体が男も女もなく一緒になって問題に取り組む。

「行動計画に基いて、活発に活動している民間の大阪府民会議とも協力して啓蒙、教育をしていますが——」

昭和五十五年、大阪府では、婦人問題のアウトラインをより多くの人に知ってもらおうと、「婦人問題アドバイザー養成講座」を始めている。一期生が集まって、婦人問題アドバイザーの会もできた。徐々に、婦人問題にかかわる人が拡がっているのは事実だ。

「関心のない人にどうしてわかってもらえるか。みなさん、婦人の地位向上までは、首をたてにしますが、男女平等、差別撤廃となるとなかなかのってもらえないのです」

井口さん自身、働き続けることへの不安を感じていたが、一九七五年の国際婦人年以降、働く婦人同士が支え合ったことを思い出すと。

「同じ悩みを持つものの力は大きいですね。婦人の連帯が、婦人たちを支えたのですから」

これからは、婦人問題に関心のある人だけでなく、それ以外の人にどう広げていくかが課題とも。

「働いているいない、男女にかかわらず婦人問題に関する府民全体のコンセンサスを得ることが、施策をよりうまくいかせることにもなり繋がりますから」

さらに、今後は、府立婦人会館を、婦人に関する情報資料センター的な役割が果たせるようにもしたい、と。

「特に婦人問題の知識がない人でも、心のどこかで差別を感じている人が多いのではないでしょうか」。

ワードプロセッサ教室

無料開放

自由に触れて 親切な指導も

オフィス・オートメーション機器はもう一般化しているといえる。一般事務職にある人でもその操作技術の習得は避けて通られないところまできている。OA時代に落ちこぼれないよう実際に触れてみることから始めましょう——という主旨で情報処理サービスを扱う日本能率コンサルタント（北新宿一—五—二、佐藤ビル）の教育事業部門であるニチノー教育センターでは、十二月中毎週土曜日に、日本語ワードプロセッサ教室を無料開放する。講習は行わないが、希望があればベテランの先生が指導してくれる。

日時 12月4・11・18・25の各土曜日、午前10時から午後4時の間いつでも。

対象 ワードプロセッサについて知りたい人は誰れでも。経験資格など問わず。当日、作成したい文書を持参してもいい。

★電話で予約のこと。（03—365—3205）

女子学生のための特別コースも

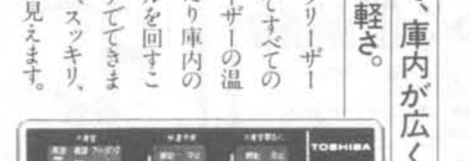
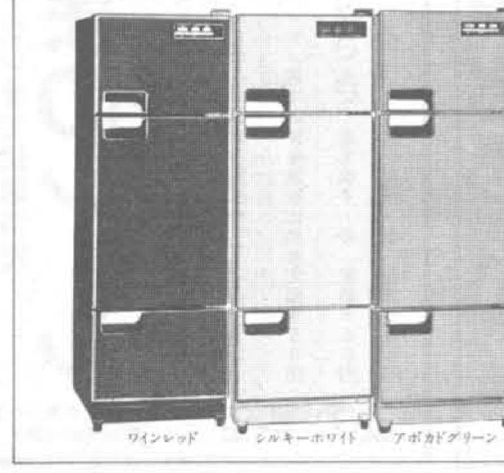
特にこれから就職をひかえた女子学生に短期間でワードプロセッサが習得できる特別コースを企画（一般男女も可）。次の要領で実施する。

【期日】①12／27（月）～29（水）の三日間、②1／5（水）～7（金）の3日間

【料金】二五、〇〇〇円（教材費含む。入会金は不要）

【講習内容】▽ワードプロセッサの基本操作②編集機能

【使用機種】日立「ワードパル20HⅡ」とリコー「リポート410V」



先端技術をくらしの中に…エレクトロニクスの東芝

TOSHIBA

東芝は、すべての操作をICパネルにまとめドアにつけました。

だから庫内からダイヤルが消えてスッキリ、ひろびろ。

ICパネルの採用で、庫内が広く使え操作もワンタッチの手軽さ。

IC快速冷凍冷蔵庫は、フリーザーのドアにつけたICパネルですべての操作がOK。冷蔵室やフリーザーの温度調節などがドアを開けたり庫内の奥まで手を伸ばしてダイヤルを回すこともなく、簡単にワンタッチでできます。ダイヤルの消えた庫内は、スッキリ、ひろびろ、使いやすさが目に見えます。

たっぷり冷やせる東芝だけの直冷式。

しかもIC快速冷凍で、新鮮さ封じこめ。

上下左右の冷却器で食品を直接冷やす東芝独自の直冷式フリーザー。ぎっしり詰めてもよく冷えます。ICパネルの快速冷凍ボタンを押せば、マイナス40°C（室温20°Cで無負荷の場合のフリーザー底面温度）の冷凍パワーですばやくフリージング。おいしさをそのまま封じこめます。

ドアにも、東芝だけのかしこい工夫。

一日に何度もドアを開け閉めしたりする冷蔵庫。東芝はフリーザー・冷蔵室のドアに、新しい発想のドアピヒンジを採用。ゴムパッキンがいためにくくピタリと閉まるので、冷気を上手に使うことができ、省エネに役立ちます。

新発売

直冷式・IC快速冷凍

東芝〈冷凍〉冷蔵庫

GR-273ASV(W)シルキーホワイト・(G)アボカドグリーン・(R)ワインレッド

標準価格212,000円

FOR BETTER LIFE

有効内容積：268ℓ（フリーザー54ℓ、冷蔵室159ℓ、野菜室55ℓ）

直冷式冷凍冷蔵庫 ＊＊＊ ●消費電力量：27kWh／月（50Hz・60Hz）●外形寸法：幅570×奥行610（ハンドル含む630）×高さ1,740mm●ピッタリタイプ●据付必要奥行寸法60cmタイプ

●東芝冷凍冷蔵庫には保証書が付いています。お買い求めの販売店で所定事項を記入した保証書を必ずお受けとりください。

上手に使って上手に節電

行って習ってみた "キミ子方式"

こうやれば誰でも絵が描ける！

教科書と逆のやり方

描き方をキチンと教え 自由にノビノビで自信

"キミ子方式"という言葉を知っていますか？どんなに絵の嫌いな、絵が描けないという人でも描ける方法というので、注目を集めはじめている。この方式を考えたのは松本キミ子さん＝東京都日野市＝。産休補助教員として子どもたちに教えているうちに、あまりに絵の描けないという子が多いこと、"なにもできない子"とキメつけられ、自信を失い、うちひしがれている子がいる現実をみて、だれでも絵をうまくかくことはできないものか……と考えたのが"キミ子方式"誕生のきっかけだ。

常識のワクはずす

"キミ子方式"はいままでの常識を全くくつがえすものだ。まず色は三原色と白しか使わない（まぜ合わせて自分で色をつくる）。自然のものは輪郭をかかない。植物は成長する順序に上から下でなく、タネ・根・芽が出て茎がのびて……という順序で描く。海のものは泳いでいる方向に、流れるように描く。動物は毛の流れを追って描く……というあんばい。そして、画用紙に合わせて画を描くのではなく、たりなければ紙をつぎたし、余白があまれば画に合わせて紙を切る。時間がたりなければ途中までもいい。"魚の頭"、"あみかけの帽子"でいいではないか……。

こうした方法で、一人残らずすばらしい画を描けるようになった。「だれでも描ける。もし描けない子がいれば、どうして描けないのか、その生徒にこそ教師が学ぶべきだ」と松本キミ子さんはいう。

"キミ子方式"のことを聞いたとき、本当に輪郭を描かないで絵が描けるのか……と疑問に思った。大体輪郭なしで絵を描くといっても、どうして描くのかイメージが浮かばない。松本さんが主婦相手の文化教室で絵を教えていると聞いて、見学に行きたい、と連絡を入れた。

「どうぞどうぞうれしいわ。あなた絵筆やパレット持ってる？」「いいえ。何十年絵なぞ描いたことはないし……絵は苦手で……。」「ア、そういう人がいいの。いいわ、道具持って行って貸してあげる」

なんとなく私も描くことになってしまった。横浜市戸塚の西友ストアーの文化教室で——。

「ハイ、きょうはサバを描きます。机はのけて。床の上で描いた方がいいから。できるだけサバに近くよって、よーく見て……」

キミ子方式ではいい洋服など着てこられないようだ。みなが床に坐りこんで描く態勢ができると、まず描き方の、くわしい説明がある。

まず描き方の説明

「口から描きますからね。サバって下の口が出っぱってるでしょう。魚によって上が出ているのと下が出ているのとあるらしいけど、出っぱっている方が先。だから下の口から描きはじめます……」

「先生！このサバ、上の口も下の口も同じようよ」と一人から異議申し立て。「ヘエッ？」とそのサバをつらつらと眺めたキミ子先生。サバにもいろいろあるのねと感心しながら「その場合はどっちでもいいけど、一応サバは下が出ているのが普通だから下から描いて……」

まず小筆で水をたっぷり含めて下の口、上の口、目の上、目の下……と描く順序から使う筆の大きさまで、くわしくくわしく説明。色は藍、赤、黄（濃い黄）をまぜ合わせ自分でつくる。をつくる時は三原色は青でなく藍の方がいらしい。これだけくわしい説明を聞くとなんとなく描けそうな気がして、おそるおそる筆をおろす。（「だって、小学校、中学と長い長い間、図工美術を習ってきたでしょうが、ちゃんと描き方教わったことある？ハイ、よく見て描いて——これだけじゃない？私、美術の教師ほど怠慢なものはないと思う。教えないでいて、優劣をつけるのだから……」キミ子先生の話）

美術の先生も参加

そこへ"キミ子方式"に興味を持ち、授業にとり入れているという現職の中学の美術の先生が二人現われた。「サア、あなた方も一緒に描いて、描いて……」有無をいわさず、二人も絵筆を持たされてしまった。

不思議だ。どうなることやらと思っていたが、なんとなく魚になってきた。（「はじめのところがキチンと描けたら描けるの。隣から隣へと描いて行くからそう変にならないのよ」キミ子先生の話）

キミ子先生は一刻もじっとせず、教室を飛びまわる。大体、うまいうまいその調子とほめ、あとちょっぴりアドバイス。ほめられるとなんとなく自信がつくものだ。

「先生、少し太目になりすぎちゃった」「脂がのっておいしそうじゃない」「でもいくらなんでも……シタビラメみたい」「じゃ、丈をのばせばいい」キミ子方式は自由自在。丈をのばす。紙がたりなくなる。つぎたす。でき上ると魚の大きさに合わせて紙を切り、壁に貼ってみると——。面白いことに、現職の美術の先生も、半年くらいやっている人も、きょう教室入りした人も、私のような飛び入りもあまりうまさにおいて変わらないのだ。ひいき目かもしれないが、どれもちゃんと"サバ"に見える。そしてまことに個性的だ。大きいの小さいの、色がこい目、うす目——同じサバを描いたのに。

やりかけでも作品

「そうなの。差がないでしょう？だからこの方式がいいのよ」キミ子先生ははればれといった。成績の優劣をつけ、ヘタなものへの興味をも失わせる、いまの教育の常識にキミ子先生はがまんできないのだ。

"絵が下手"と思いこんでいる子について、どうしてうまく描けないのか、その理由を調べてみると第一は輪郭が描けない。うまく描こうと思うほど手がふるえてしまう。第二はすぐ水がにじんで汚くなることだった。そして遅くて期日に仕上らないというのも、子どもの悩みだった（これも成績を悪くつけられる因）。そんな、へたと思いこんでいる子になんとかして楽しく描かせる方法はないか——。そこで思いついたのが"キミ子方式"なのである。画材も好んで魚やイカ、モヤシ等をつかうが、こうしたものは筆に水をたっぷりつけ、ビチョビチョという感じで描く。当然にじむ。海のものはにじんだ方が本物らしくなるのだ。にじんで汚くしたから自分は絵がヘタだと思う、子どものコンプレックスをとり除く。

さらに、遅い子は人が魚一匹描く間に、頭しか描けず時間が終わってしまう。輪郭を先に描く従来の方法だと、途中までしかあがらなければ、当然"やりかけ"の作品だ。キミ子方式なら尾のちぎれた魚、花の根と茎……これで"完成品"なのだ。

教えもせずに管理

中学の先生たちが"キミ子方式"をとり入れて生徒に描かせた写生をキミ子先生に見せた。キミ子先生と若い中学の先生のやりとりを聞いていると、なかなかかみ合わない。

「だって、いまの中学生たち荒れていて……」「そう、だけどそんな子の方が、自分にも描けるとわかり出すとかえって夢中になるのよ」「だって——。絵の具だって持ってきもしないんですよ」「持ってこなかったら貸してやればいいじゃない」「え——？クセになるんじゃない？」「大丈夫。三度貸せば、四度目には必ず持ってくる。そのかわり、その三度の間に、ちゃんと描かせなけりゃだめよ。強引でも、手を添えても描かせちゃう。自分でも描けると思ったら、もう大丈夫……。」「？？そうですかァ？」

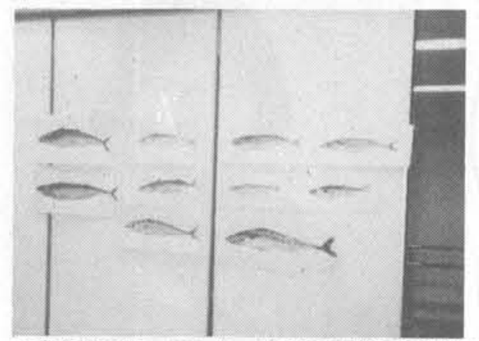
キミ子先生は、いまの学校は服装だの髪型だの、くだらないところばかりを管理して、肝心の授業を管理していないという。平気で落ちこぼし、教えもしないで……。

西友の文化教室で

床に坐りこんで絵を描く。キミ子先生もくるくる歩きまわって

絵にあわせて紙を切る

「よく描けたわよ、うまいうまい」とキミ子先生



できた絵を貼ってみた。中学の現職の美術教師あり、きょうはじめてレッスンをとった人も。記者のは？でも差がありますか？

ハチャメチャな教室

でも作品はキチンと仕上げ

教室は騒がしいが

本当に子どもたちが一人残らず絵を楽しむようになるのか、いまキミ子先生が産休教師として行っている東京都府中八小をのぞいてみた。ちょうど四年生の授業で、ウサギをモデルに木版画を彫っていた。キミ子先生の木版画は、下絵をしっかり描かせる。描き方は"キミ子方式"どおり、ハナから始めて毛並み通りに。「わからなくなったらウサギをなでて……」が基本。子どもたちはウサギをなでまわして毛並みをたしかめる。時間の半分くらいウサギをなでまわしている子がいても先生は叱らない。「動物の愛し方も覚えるのよ」。下絵にたっぷり時間をかけ（四時間）ると、彫る方は早い。「教科書通りだと下絵の時間がなくてためし彫りだの、なんだのに時間をかけるのね……」。教科書を見ると、象の形だけが描いてあって、おもちゃのようで迫力がない。「絵が基本で、彫るのはそう失敗しないのよ」教科書など、彫刻刀の持ち方などが厳しく指導される。「そんなの、どう持ったっていいのよ。それでいてどの彫刻刀を使い分けるかは教えない。私はそれだけはキチンと教えるの。どうしてこう教科書ってなんでも逆なんだろう。」

教室は、ハチャメチャに騒がしく楽しそう。ウサギをなでに行く子、これでいいと先生にアドバイスを求めにとんでいく子、[illegible]ていると、どこからか走ってきて、カメラの前でポーズ。普通教室では、子どもはこう自由にふるまえない。好奇心でいっぱいでも、一生懸命がまんして、上目づかいにジーッと。もしこんな状態になったら、授業の妨げになるから撮影を遠慮してほしいと先生に叱られてしまうだろう。キミ子先生はゲラゲラ笑っている。「よその人が来たら、子どもがはりきるのは当り前。多少チョロチョロしても、やることやっていればいい。」なるほど、カメラを構える度にVサインかざして走ってくる子がいて、どうなることやら、と思っていたが、仕上って彫りはじめる子が出はじめると、急にはりきってピッチをあげ、あっという間にしあげてしまった。

どうして怒るの？

「教生の女子学生が私の授業見に来て、びっくりしてるの。先生はちっとも怒らないんですねって。だから私いったの。みんな楽しんで、上手に画を描いているでしょ。どうして怒るの？って。そして、その教生の教室に行ってまた、びっくりしたの。ちょっと子どもが騒ぐとシズカニー、ってすごい声で……。大学へ行ってあんな"管理"の仕方だけを教わるのかしら？」

キミ子方式をもっとよく知りたい方は松本キミ子、堀江晴美共著の「絵のかけない子は私の教師」（仮説社 二六〇〇円）、「三原色の絵の具箱」（ほるぷ出版 三巻 各千五百円）をご覧ください。

府中八小の授業で

モデルのウサギをなでている子の写真をとっていたら、たちまちワッと子どもの山

ここはこうして…キミ子方式は１人のおちこぼれも出さない

すりはじめる スミをベトベトつけるのが男の子には面白く、熱中（ここにもVサイン！）

できあがったものからはり出す。子供の作品と思えぬ迫力

お時間拝借

—女性にひとこと

語る人 ライオン株式会社会長 小林 宏氏

"消えた洗済"の教訓

利益の社会還元が社是

ライオン油脂とライオン歯磨が昭和五十五年合併してライオン株式会社となり会長に。その前はライオン油脂の社長だった。

「イヤ、私が社長になったのが四十八年。その直後に石油パニック。その年の株主総会は"一株々主"の方や反対の立場の方が来られたり、大変でしたよ」。

「洗剤は、ちゃんと平常通り工場でつくっているんです。それが店頭から消えた——どうしてか。洗剤のような商品を"最寄り品"といいましてね、つまり、いつでもどこでも買える品。だからなくなった時に買えばいいというので、買い置きしている人は少ない。当時の統計をみますと、一世帯当り月に洗剤費を平均百七十円つかっている。ということは二・六五キロ、五百円の箱を一つ買って、二カ月半ほどつかうというのがふつうの家庭だった。ところがパニックのあった四八年十一月の統計では、一世帯平均で洗剤に五百四十円、三倍も買っているんです。これじゃいくら作っても足りないわけです。この買いあさりがパニックの原因ですよ。」

ではどうして買い漁りが始ったか？ある団地で一人のトイレットペーパーを抱えこんだ主婦が、ものがなくなるといったのが火元だというが……。

「まあ、真相は何にしろ、一つの言葉、動きから全国的大騒ぎになる……。いくら洗剤はあります、といっても誰も聞いてくれないのですから——。日本人の付和雷同性というか、こわいですねえ。」

新人社長には大変な試練だった。おまけにライオン油脂にもその二年前入ったばかり。

「私、京大を出まして、旭化成に入りまして、宮崎社長に可愛がられ、もちろんずっと旭化成にいるつもりでした。ところが先代の小林寅次郎社長が四十四年に急になくなりまして……。まだ六十八歳、働きざかりで、予想もしないことでした。寅次郎社長は子供が女ばかり四人、私の妻が長女なんですよ。だからぜひに、という話が出て、ライオン油脂にうつったばかりだったんですよ」。

そのライオン株式会社は、非常に家庭的な会社だといわれる。

「例えば食堂、これが役員用も社員用も一緒でして、別に席も決まっていない。だから、私がことし入ったばかりの女子社員の隣にすわって食事をする、などというのも決して珍しいことではない。月曜日は役員で集って昼食会をしますので食堂には行きませんが、食事は食堂からとりよせます。同じカマのメシを食べるわけで、中の者は馴れてしまってなんとも思いませんが、よその会社では珍しがられますね。」

「ライオンの創業者の小林富次郎（初代）のキリスト教精神と関係がありますかな。はじめ、経営がうまく行かず、自殺を考えたこともあったそうですが、キリスト教の教えで救われて——。以来"人々の幸福と生活の向上"、そして利益を社会に還元・奉仕するのが、企業姿勢です」

なるほど"社是"に《わが社は「愛の精神の実践」を経営の基本とし……》とある。

「だから合成洗剤の問題にしろ、私どもは鋭意、いい製品をつくっているのに、アタマから毒とキメつける人がいる。たとえばゴキブリに洗剤をかけたらゴキブリが死んだから毒だとか——。あれは、洗剤が親水性親油性なので、ゴキブリにかけると、はじかれずに気孔をふさいでしまい、呼吸困難で死ぬんです。サラダ油をかけても死にますよ。科学的でないデーターは困る……」

「滋賀県ではいま有リンの洗剤はつかえません。あれは"富栄養化防止条例"というのですが、新聞などに"合成洗剤追放条例"と出てしまう。困りますな。無リン洗剤だけになった今年、琵琶湖にまた赤潮が発生したんですよ。私どもが前から主張しているように、合成洗剤のリンは琵琶湖に流れこむリンの10％くらいにすぎない。原因の一つでしかないのに合成洗剤だけが悪者になる……。」

商品を売るのでなく、"売れる商品"をつくるのだ。製品には絶対に自信がある、と胸を張る会長さんである。

趣味の碁のこと（四段である）、昆虫のこと（セミ、トンボは"博士クラス"とか）もお聞きしたかったが、残念ながら"お時間"が切れた。

（訪問者——本社々長柴田多喜）

ほん

再就職 —もうひとつの生き方— 樋口恵子、中島通子、向井承子編

再就職のすべて

実例・ルポふんだんに

「女が生きる職業」シリーズ（全三巻）の第三巻なのだが、子どもの手が離れて、また働きたい中高年女性の再就職について、実にくまなくあらゆる問題を網羅している。"女子の就職問題"についての本は多いが、再就職を書いたものは、損をしないパートの手引き、といった実務的なものはあっても、これだけ総合的に書いたものはあまりないようだ。再就職した（したい）婦人がふえているいま、非常にタイムリーであり、精神面からも、実務知識（社会保険や税金の面など）の上からも、ぜひ一読をすすめたい本である。

再び働こうか、と思う婦人には二つのタイプがある。経済上どうしても働かざるをえないという人と、"生きがいを求めて"というタイプと。そして現実にぶつかると、とても一人の口をまかなっていけないほどの低賃金、パートばかりで正規の口がない、内容的にもとても"生きがい"のあるような仕事は、めったに転がっていないという厳しい事態に遭遇する。そんなことなら"生きがい"のためにはボランティアの方がいい、という意見も出てくるのだが——。こんな中で、「わいふ」編集部の和田好子さんが、雑誌「わいふ」によせられた手記や実例をもとに、働くべきかどうかの議論などしている人は、結局"自立ごっこ"に終わる。再就職は実行あるのみ、パートだろうが何だろうが、まず家を出よ。必要に迫られる人は、そこを足場に自分を変革して行く…という意味のことをいっているのは、注目に値しよう。

また、原田静枝さんが実際に求人広告をもとに歩いてみたルポで"年齢制限"にこだわるなとあるのは注目に値する情報だ。求人広告には大てい三十歳以下とか三十五歳までとか年齢制限が書いてある。主婦の気もちはまずその辺で萎えてしまう。が、原田さんは実際に歩いてみて、一応そう書いてはいるが、あまりこだわってはいない企業のホンネを聞き出している。まずは、心臓強く、"あたってみること"なのだ。

パートや、いまはやりの事務請負派遣企業の問題への切り込みも深く、法律面、保険、税金といった現実問題と、再就職についてもれなく親切に扱っている。外国の実情の紹介（アメリカ、スウェーデン、フランス、西ドイツ）も興味深い。

終章は、編者の樋口、中島、向井さんのてい談だが、家庭の問題から、老後の問題（性別役割分業から高齢化社会）までふみこんで、女の再就職問題を論じて、考えさせられる。（筑摩書房 千二百円）

樋口恵子・中島通子・向井承子 編
再就職 もうひとつの生き方

銃後史ノートのつどい

第三回「銃後史ノートのつどい—女たちの十二月八日」。十二月十一日午後二時から東京渋谷の山手教会で。

戦争の被害者であると同時に"銃後"を支える存在であった女たちのあり方をみつめ、分析し、"銃後史ノート"を刊行している「女たちの現在を問う会」は、このほど第七号目の「女たちの十二月八日」を出版するが、刊行とあわせて、太平洋戦争がはじまったころの状況を報告、これからの女性の生き方を語りあう。報告者は「隣組—相互監視の網の目」加藤栄美。「"非国民"とよばれた女たち」大宮みゆき。参加費 四百円。問合わせは0468（73）9871—2鈴木さんあて。

クリスマスページェント

YWCA

東京YWCAのクリスマス・ページェント「その夜、星空の下で」。十二月十七日 午後六時半から ゆうぽうと簡易保険ホール（国電五反田、または池上線大崎広小路下車）。作、演出松岡励子。作曲、田中友子、務演、長岡輝子ほか文学座・演劇集団有志、東京YWCA劇グループ、中山新子と二〇〇人のコーラス。入場料二五〇〇円（指定席当日、前売りは二三〇〇円）、二〇〇〇円（自由席）。問あわせは東京YWCA（電03・293・5421）。

愛の援助を！

アフガン難民訴え

アフガンの難民家族、アジズ・アハマッドさんとムハンマッドサリームさんの二家族が、寒さを迎えて身の回り品にも事欠く状態で困り果てている。

両家族はことしの初め、自由を求めて裕福だったそれまでの生活を捨て動乱の祖国を脱出、パキスタン、インド、スリランカを経て米国に入国を求めたが断わられ七月に来日した。北海道函館市で暮らしていたが十一月に、アフガニスタン出身の語学教師・ムハンマッド・アミンさんを頼って上京、アパート暮らしをしている。

両家族ともわずかな身の回り品と衣服だけ、家具もない。アルバイトでは暖房器具すらも買えない。ベッド、カーペットなど不用のものがあれば——とアミンさんが呼びかけている。問い合せはアミンさん（03・929・5555）へ

カトレヤにまごころをつつんで

お歳暮はマツザカヤ

歳暮総合ギフトセンター●本館6階 この一年お世話になったあの方へ、心のこもったごあいさつ…。新鮮なご贈答好適品を豊富に取り揃えて、お待ちしています。

ギフト300選 マツザカヤが特に自信をもっておすすめする〈ギフト300選〉をはじめ、ゆきとどいた心づかいが生きるご贈答好適品を見やすく選びやすく商品別に、価格別に陳列いたしました。

直配システム 横浜・静岡・岡崎・名古屋・大阪・高槻・山形への贈り物は厳選した全店共通商品で。10都市12店直配システムによりご指定の品をいち早く、しかも送料節約でお届けいたします。

ギフト配達網 お品物は承り次第配送センターから都内23区はもちろん、近県諸都市と直結してご進物先やご自宅へスピーディーに、確実に、ていねいに配達いたします。

マツザカヤの商品券 ■新館1階商品券売場でも取り扱っております 商品券は500円券から100,000円券までございます。そのほかご希望にあわせて各種ご調整いたします。マツザカヤの商品券は松坂屋各店をはじめ、松坂屋ストア・松坂屋パルテ・横浜松坂屋・山形松坂屋及び大丸の各店でご利用いただけます。

上野 松坂屋

TEL 832-1111 水曜定休

営業時間 10時～7時

12月1日(水)・2日(木)は連休させていただきます

3日(金)からは年内無休

世界のなかの日本

900キロの送電線を建設

イランでの静かな成功

革命、そしてイラクとの戦争とイランから伝えられてくるニュースには、銃火と血のにおいがつきまとうようで、革命後の新政府も〝象徴的な国家事業〟と位置づけてはいるものの、石油化学コンビナートの建設事業は中断につぐ中断、難航を続けているのですが――

その同じイランで、同じM商社の社員たちが電力関係の技術者や現地労働者たちと協力し、足かけ六年の難工事を完遂、全長九百㌔の送電線を建設し終えてこのほど帰国しました。

産油国イランは、燃料の原油はあり余っているのに発電所や送電設備を建設する技術はありませんでした。そこで国王時代の一九七五年、先進各国の協力を得て大がかりな発・送電計画が開始されました。

M商社を軸とする日本勢は、ソ連国境沿いの地帯に全長九百㌔の送電線をひく工事を担当することになりました。一㌔に三本の鉄塔を建てケーブルをひっぱるのですが、同地帯は標高二千㍍級の山々がつらなり、谷は六百㍍もの深さにきりたっている。しかも十月の終わりから春までは雪で工事ができない。工事現場にはイノシシやオオカミが出てきて、うさんくさそうに人間たちの動きをみつめることがしばしばという悪条件でした。

しかし七八年十月には、予定工事の七〇%を終わり、あとは七九年春の雪どけを待っていっきに工事完了の見込みというところまでこぎつけました。ところが、あの革命。

新政府も『電力は国のかなめ』だと工事の継続完成を要請したのですが、材料の入手がままならない。なんとか工事を再開しても資材を現場に運ぶ車も不十分という中で、こんどはイラクとの戦争。現地の優秀な技術者は兵隊にとられてしまう「親族に戦死者が出たから葬式のために休ませてほしい」という労務者があいつぐという状態で、工事はまったくノロノロ。

発電所や変電所工事を担当した外国の会社は、革命以後の混乱をみて「これでは約束がちがうから」と引き揚げてしまいました。

けれども日本勢は「ともかくも引受けた仕事は完成させなければ」とがんばり続けました。商社マンは、直接に鉄塔を組立てたりケーブルをひっぱるわけではありませんが、資材の調達や運搬、工事の進捗計画の作成と作業員の配置、現場事務所・労務者の宿泊施設の庶務など、建設工事の技術者にまさるとも劣らぬ苦労の連続です。

イラン政府と送電線の恩恵を受ける住民たちの間に「日本人は、引受けた仕事には責任を持って仕上げていった」という信頼をかちとり、静かな成功を収めてきたこの商社マンたちの苦労は、一般にはあまり知られていないのです。そして、このスタッフたちは、十分に休養する暇もなくサウジアラビアに出かけて同じような仕事に取組むのです。

（社・日本貿易会商社委員会調）

「遺伝毒性を考える会」が学習会

農薬はどこまで減らせるか

手を尽し研究するが

農薬なしの駆除に限界

「遺伝毒性を考える会」は十一月二十四日、有楽町消費者センター教室に、全農・農業技術センターの福田秀夫氏を招き「農薬はどこまで減らせるか」について、学習会を開いた。これは去る十月三十日、厚生省食品化学課長・藤井正美氏を招いて行われた〝食品関連化学物質の規制をめぐって〟の学習で「農薬の有効成分三〇〇のうち、二六（そのうち七が禁止されている）しか残留基準がない。他のものは使用されても法律違反にならないが、今後の規制はどのように考えるか」を質問。これに対して藤井氏は「輸入七割という現状から国際基準をつくる必要がある。日本ではADI（一日摂取許容量）にもとずき、全部の農薬の残留基準値をきめる準備をしている。農産物については、従来の品目別から類別することによって、すべての作物に適用できるようにする。ただし葉物、桃などは長期保存がきかず、検査結果が出ないうちに消費者の口に入ってしまうものについては、ガイドライン的な形で数字を出すつもり」という答を得た。

しかし、より安全にするためには、農薬を使わないことが一番である。農薬、化学肥料を使わない有機農で作った野菜が消費者たちに人気があるが、本当に農薬をつかわないで作物がつくれるだろうか、という疑問を解くカギをさぐろうというものである。

「生物は気の遠くなる年月を重ね、突然変異を重ね、環境に適応しながら生きてきた。そして、環境に適応できるもののみが生きのこっていったのです」と、福田氏は自然界の節理から話をすすめる。

「自然界はお互に食べられあい、飼の密度を調節しながら生きて、自然のバランスを保っているのです」

その自然のバランスを崩したのが人間だ。

五〇万年前に火を使い始め、一万年前に農耕を始めた。森や草原を焼きはらい（焼畑農業）大自然を破壊しながら、計画的に食べ物を作り、保存し、繁栄していったのだ。

しかし、自然のバランスを壊したツケは病虫害という型でやって来た。一カ所に豆、麦などを大量に作れば、それに着く病気や虫がドーッと集って来る。

その時人間は、ただ神や仏に祈ること以外には何もできなかったのだ。近代三大飢饉（きん）といわれているのは享保、天明、天保の飢饉だが、享保はウンカの大発生によるものだった。幕末になって、油を水田にまき、その上にウンカをたたき落して退治する方法を発見したが、病虫害によって、人間は常に飢えに泣かされて来た。

「しかし、いまは飽食の時代といわれるようになりました。いい、悪いは抜きにして、これは農薬によって作物を守れるようになったからです」

農薬の開発によって逃げの農業から、攻めの農業に変わったとも言う。

「農薬のおかげで生産性が安定したが、農家の人も被害を受けているし、常に不安がつきまとう上に、購入のために金もいる。本当は使いたくないのだが、それに変わる方法があるだろうか」

まず考えられるのは、天敵を使うことだ。作物に害を及ぼす虫を食べる昆虫や小動物をもって害虫を取り除こうとするものだが、「しかし、自分のエサである虫を取ってしまうと、自分も飢え死ぬという自然の法則にのっとり、絶対全滅するまで食べ尽さない」のだという。

土蒸気消毒をする方法も実験的にやっているが、コストが高くついて、現在のところ一般化できない。

虫に強い、抵抗性品種への改良は以前から行われ、成果も上げているが、四～五年もすると、また病気にかかる。つまり病虫害の方も変化するというのだ。まるで、ネコとネズミの追いかけっこにも似た作業となっている。

物理的に駆除することも考えられた。虫の好きな色や波長を電燈で流して虫を寄せる。誘蛾燈などもその一つだが、問題は虫によって好きな色が違うことだ。

人の力によって、一匹一匹害虫を駆除することも出来なくはない。かつて農村部の小・中学校ではナワシロの虫とりをさせたこともあったが、それが現在にも通用するだろうか。学生の手を貸りず、人の力で害虫駆除をやるとなると、莫大な人材費が必要になってくる。しかも完全には取れないのだ。

「こういう仕事をしていると、新聞の記事によって、非常に困るときがあります。例えば〝ヒメトリウンカに農薬はいらない〟という記事が載っていました。読んでみると、島根県と東京のヒメトリウンカを交尾させても子供は産まれないという実験的な記事なんですが、新聞はもう農薬はいらないんだと飛躍する。でも現実可能なことなんでしょうか。島根県のヒメトリウンカに必要な数の、東京のヒメトリウンカを誰がつかまえるんですか。捕えたなら、わざわざ島根まで運ばなくたって、殺せば、東京のウンカがそれだけ減るわけですから」と、おかしくとも笑えないような実例を紹介。

農林省も農薬を使わないで防除できる特別の研究を早くからやっている。

「別ワクで予算をとり、各地の研究所にプロゼクトチームを作り、横の連帯を取りながらやっている。しかし、農薬に取って変るような研究成果をあげられていないのが現実」

それだけ自然界は難しいということだろう。

「昔どうりの有機農業をやっていたら、飢饉の時の〝米ヨコセ〟闘争をやらねばならないだろう」と福田さん。

これに対し、参加者からは、農薬を運用する農家の被害実態全農の指導、農薬の伸び率についての質問があった。

「昭和五十年は農家の被害が減っているが、現在は横バイ。すぐに結果が現われる被害は手の打ちようもあるが、すぐに結果として現われない被害が一番恐い。知らないうちに体が犯されていないか、子孫への影響はどうだろうか。しかし、人類はそれほどバカじゃないと思うし、一国だけが規制してもダメ。今や食糧、人間は世界を駆けめぐっているから」―問題の根本的な解決はまだまだほど遠い。

美容

通勤着からの変身

オフィスからパーティへ

クリスマスや忘年会など集まりの多いシーズンになりました。

仕事の終わったあとそのままパーティーの会場に駆けつけなければならない…そんなOLのために今回はアフターファイブの通勤着を生かした華やかな変身術を。

昼間がツィードのジャケットであれば、胸にくすんだ色のコサージュをつけます。またポケットチーフだけをレースにとりかえてもいいでしょう。見えても見えなくても真珠のイヤリングをするなど。

派手なネックレスで変化をつけるのが恥ずかしいという向きには、替え衿を使う手があります。丸首のプレーンな黒のセンターにアメティークのレースや真珠の替え衿をつけたら、もうこれだけで華やかな夜の服にかわります。

次に顔とヘアスタイルは―昼と夜は照明の明るさが違うのでそれを計算に入れたメーキャップが肝心。

暗い会場では、肌色を明るくし、口とか目の、表情が動く部分に華やかな色をつけます。眉尻から頬にかけて、またあご線などにピンクやイエローなどでアクセントをつけ、顔全体に立体感をだします。

昼間のお化粧を全部落してから直せば理想的ですが、時間がない時はあぶらとり紙などで脂や汗を押えてから、新しく塗ること。

ヘアスタイルもちょっと華やかにしたいもの。

長い髪だと、一方の髪をかきあげて、そこにヘアアクセサリーをつけ、左右シンメトリーのヘアスタイルをくずしてはいかが？

ショートヘアでは、後頭部にふくらみをもたせます。うつむきになってブラッシングした後で、スプレーし、髪の表面だけ軽くブラシをかけると、逆毛をたてるより自然にふくらみがつてます。こうしてボリュームがでると、すらりと細く背が高くみえます。

パーティーのある日は、朝からそのつもりで、アフターファイブの七つ道具「携帯用のヘアスプレイ、香水、メーキャップ用品、ピンまたはカーラー、ティッシュペーパー、アクセサリー、スタイリングブラシ」を持っていれば便利でしょう。

（資生堂提供）

アクセサリーなど小物で変化をつけて―

〝苦難の半生〟いたわる

新森小路婦人会　盛大に32回の敬老会

大阪市

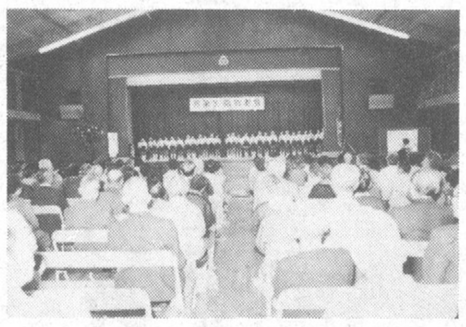
小島会長から金婚夫妻に記念品が贈られた

恒例の大阪市新森小路婦人会（小島鶴子会長）主催の第三十二回敬老会は十月二日新森町会連合会共催、新森校下社会福祉協議会後援で、新森六丁目の新森小路小学校講堂で開かれた。あいにくの雨天だったが、予定どおり多数の参加者で盛会となった。

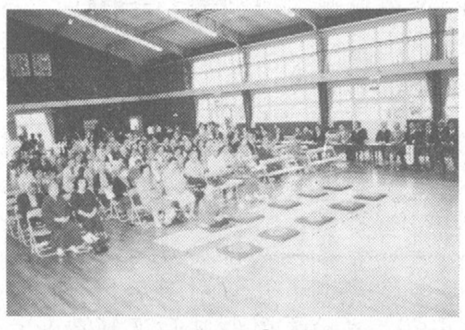
原田美佐子副会長の司会で、紹介された、橘高二美子副会長が開会の言葉を述べ、続いて小島鶴子会長から次のようなあいさつがあった。

「おじい様、おばあ様、ようこそお越し下さいました。今日は朝から雨模様で足元が大変お悪うございますのに皆さん大勢お越し頂きまして本当に、おなつかしうございます。ご来賓の方々におかれましては、旭区の五〇周年記念の行事多忙の中を本当にありがとうございます。

いまや日本は世界一の高齢化国家となりました。皆様は明治、大正の平和の時代から、太平洋戦争という大変な時期を生き抜いてきた方ばかりでございます。何くそという気迫、大和魂を持って苦難をくぐりぬけて来られ、その間社会的にも、大きな前進がみられます。やはり生きていて良かった、そして良い時代に生まれて良かったなと私も思うのでございます。私も今年で七〇歳になりました。一人暮しで五年前に主人に死なれて今では皆さんがよくおっしゃる独り暮し老人の一人でございますけれども、このようなことを一度も思ったことはございません。毎日毎日何か役立つことがあったらと日夜勇気づけられて、そしてお役に立たせて頂けるのも、地域の皆さんのお陰でございます。私も今は色々と、福祉の恩恵に預かることもございますが、ただ受けるだけではなくて、若い人達と共にやって行くよう努力しなければならないと思っております。皆様方はお体が健康でこうしてお越し頂いたのですが、地域の方達に何か質問とか、腹の立つことがあれば言って頂きたいと思います。そうすればまた生きがいが湧いてまいります。また後々の人たちに伝えたいこともございましょう。これからの日本の新しい福祉を考え、生活に色んな考えを生かしてもらいたいものだと存じております。どうかおじい様、おばあ様、来年の敬老の日にお会いいたします時も、一人も欠けないように心に祈っております」。



新森幼稚園のお遊戯「青い宇宙船」



来し方を顧みながら、この一日を楽しく過す

次に後援会を代表して森友進新森小路福祉協議会々長が「皆さん、お元気でまたお会い出来た事を、心から嬉しく存じます。現在日本がこんなに繁栄しておりますのは皆様方のお陰でございます」と今後の健康を祈ってあいさつを終えると大きな拍手が湧いた。

終って小島会長から最高齢者及び金婚ご夫妻に記念品の贈呈、続いて来賓の祝辞に移り、小川孝雄旭区長を始め、寺西武府会議議員や和田充弘市会議員や富田健治市会議員や各種団体代表が今日の長寿を祝福し、健康で頑張って欲しいとの祝福のことばを贈った。最後に旭区地域婦人団体協議会の稲田菊江副会長が「会長の島田に代ってごあいさついたします。〈婦人の十年〉に向って常に努力をいたしております。天王寺区会、またそれぞれの分野で社会参加し活動しております。当、新森小路婦人会も会長さんをはじめ、皆さん方が一つになってこの立派な敬老会を続けておられることを目の当りに見て本当に心温まる思いがします。おじいさん、おばあさんは生甲斐を感じもっと、もっと長生きをして下さい」と祝辞を贈った。

盛だくさんの余興

小憩の後、第二部の慰安の催しに入り、河合幸子文化活動委員会長の司会で新森幼稚園々児桃組の歌「夕やけ小やけ」遊戯「青い宇宙船」を皮切りに常磐津剣舞、詩舞、おどりなど盛沢山の余興で午後のひとときをたっぷり楽しみ、高橋かの烝氏のあいさつで閉会した。

価格は標準的な小売価格　製造・販売 サントリー株式会社

男の気持です。
贈る言葉はうまくなくても、
贈る気持はほんとうです。
男から男へ、女から男へ、男から女へ。
年の暮れ、日本中が、男の気持です。
SRTAR ¥20,000
SO-06 ¥17,200
SR-T3 ¥15,000 新発売
YMP1A ¥12,000
SR-02 ¥10,000
YJA1A ¥10,000
SEPS ¥10,000
YDP1A ¥8,000
SO-A2 ¥5,800
SR-01 ¥5,000
SOHWT ¥5,000
SO-50 ¥5,000
FCHC ¥4,000 新発売
RL12D ¥3,440
SP-01 ¥3,300
VPF30 ¥3,000
SO-30 ¥3,000
SO-N1 ¥3,000
MAB1D ¥3,000
FSCCM ¥3,000
サントリーの贈りもの。